

## 風しん(三日はしか)

### Q.1 風しんとは どのような病気ですか。

- 風しんウイルスによって引き起こされる病気で、感染して2~3週間後に軽いかぜ症状ではじまり、発熱とともに全身に淡い発しんが出現します。耳や首の後ろのリンパ節がはれることもあります。
- 通常、3日程度で消失するので、「三日はしか」とも呼ばれます。しかし、まれに、血小板減少性紫斑病、脳炎などを合併することがあります。
- 妊娠初期の女性が風しんにかかると、風しんウイルスが胎盤を介して胎児に感染し、新生児が白内障、先天性の心臓病、難聴などの病気(先天性風しん症候群)にかかって生まれてくることがあります。

### Q.2 風しんにかかったら どうすればよいのですか。

- 特別な治療はなく、症状を少し楽にする方法(対症療法)が行われます。
- 妊娠中の女性が、風しんにかかった場合、あるいはその疑いのある場合には、その旨を医師に説明してよく相談してください。